呼吸器リハビリテーションについて

　呼吸に関わる身体部位に障害が起こるとガス交換の機能が低下してしまい、少しの運動でも息切れなどの症状があらわれ動けなくなってしまいます。そのような方にリハビリテーションをすることで日常生活がスムーズに動けるように効果が発揮されます。

適応

　肺気腫、慢性気管支炎のような慢性閉塞性肺疾患、肺炎、神経や筋肉の病気による呼吸機能の低下、人工呼吸器をつけた状態、手術後で痰を出しにくい状態など

訓練内容

・自転車エルゴメーターや歩行練習による有酸素運動

・呼吸筋の筋力増強訓練

・リラクセーション

・腹式呼吸訓練

・姿勢保持練習

治療効果

　呼吸筋の回復や身体全体の筋力を向上させることで、生活習慣を改善し、生活の質を向上させ、患者さんの日常生活の満足度を向上させていきます。